

事案名	八王子市の事案（東京都13-6）
分類	その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『相模海軍工廠』昭和59年〔1〕 ・『相模海軍工廠 追想』昭和59年〔2〕 ・『八王子の空襲と戦災の記録』〔3〕 ・『川口村動員の思い出』〔4〕 ・『川口村のほとりにて 八王子学徒動員記 相模海軍工廠』〔5〕 ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップの回答について」平成15年9月5日〔6〕
資料内容概要	<p>昭和19年頃から東京都八王子市に、相模海軍工廠南多摩分廠が建設され、昭和20年頃には火薬の爆弾への充填作業が行われたとされるが、平成4年に元学徒が訪問した際には、作業工場跡は確認できていない。</p> <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和19年に相模海軍工廠は、南多摩丘陵地を徴用し、バラック建築により同工廠の第二火工部の疎開工場とし、昭和20年3月頃には、設備の3分の1程度を移したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・八王子市内において、昭和19年頃から相模海軍工廠南多摩分廠の建設（旧川口村）が始まり、昭和20年頃には火薬の爆弾への充填作業が行われたらしいとしている〔3〕〔4〕。 ・元学徒が平成4年に旧川口村を訪問した際には、幕舎設営地跡地は確認できたが、作業工場跡は確認できなかった〔5〕。 ・市職員が現地を調査したところ、壕の入り口と思われる痕跡はなかった。当時近くに住んでいた市民の証言によれば、実家の近くに工場があり、大人たちが蠟の塊を拾ってきて蠟燭として使用していた記憶があると記載されている〔6〕。